

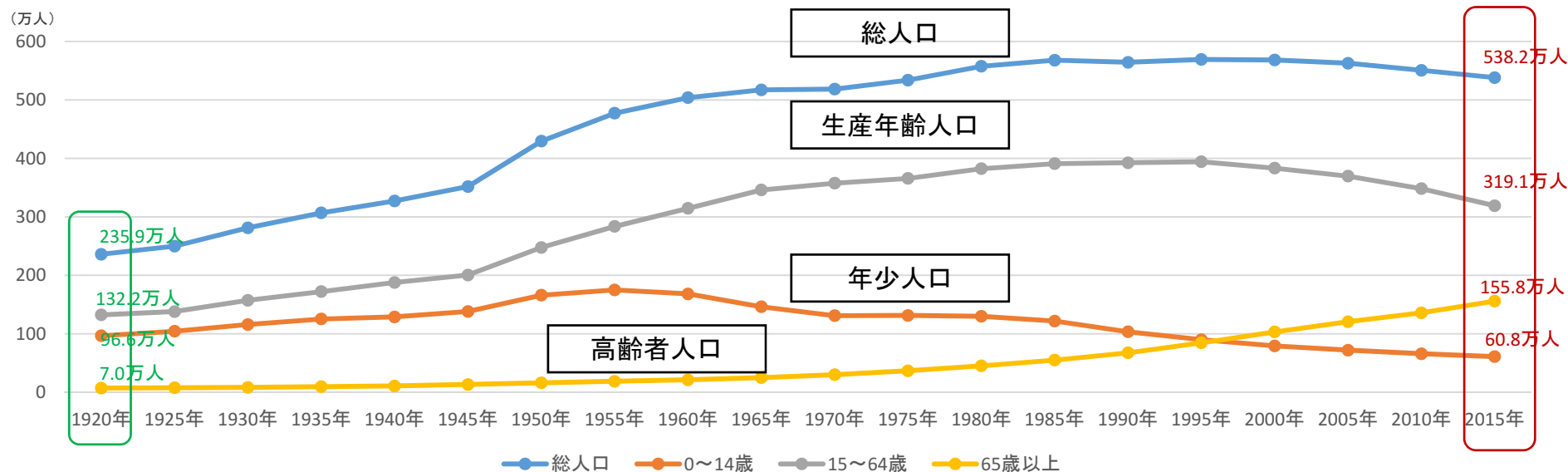
1 北海道の人口の現状

資料3-1



近年、本道の総人口は減少傾向にある。生産年齢人口、年少人口は減少しているが、高齢者人口は、現在まで一貫して増加を続けている。

■ 年齢3区分別人口の推移(北海道)



資料出所:総務省「国勢調査」

■ 年齢3区分別人口割合の推移(全国・北海道)

()は人口:万人

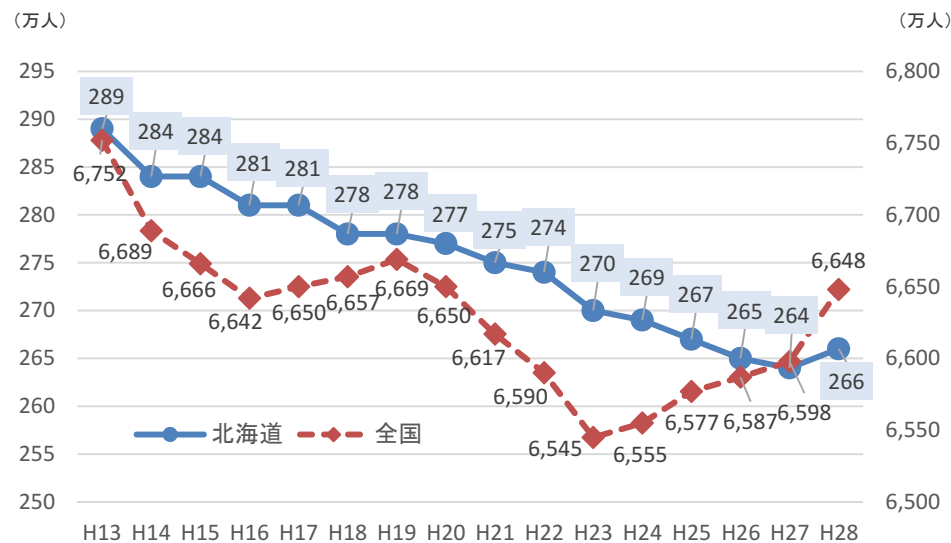
		1920(大正9年)	1970(昭和45年)	1990(平成2年)	2010(平成22年)	2015(平成27年)
年少人口 (0~14歳)	全国	36.5%	24.0%	18.2%	13.2%	12.6%
	北海道	40.9%(97)	25.3%(131)	18.4%(103)	12.0%(66)	11.3%(61)
生産年齢人口 (15~64歳)	全国	58.3%	68.9%	69.7%	63.8%	60.7%
	北海道	56.1%(132)	69.0%(358)	69.7%(393)	63.3%(348)	59.3%(319)
高齢者人口 (65歳~)	全国	5.3%	7.1%	12.1%	23.0%	26.8%
	北海道	3.0%(7)	5.8%(30)	12.0%(67)	24.7%(136)	29.0%(156)
北海道 人口計		(236)	(518)	(564)	(551)	(538)

資料出所:総務省「国勢調査」

2 北海道の労働力人口

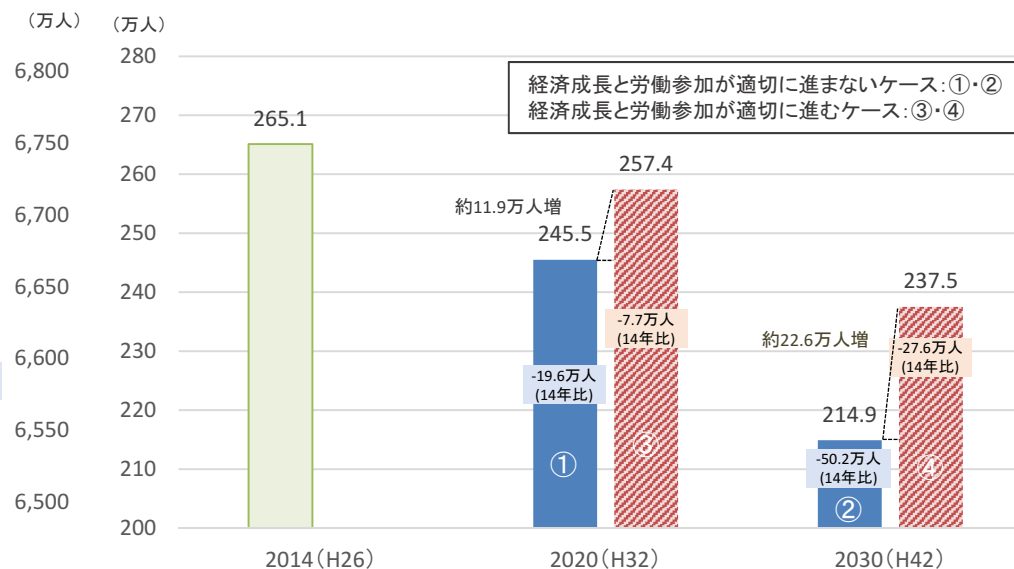
本道の労働力人口は、平成28年は増加に転じたが、長期的には減少が見込まれている。

■労働力人口



資料出所: 総務省「労働力調査」

■2030年までの労働力人口シミュレーション(北海道)

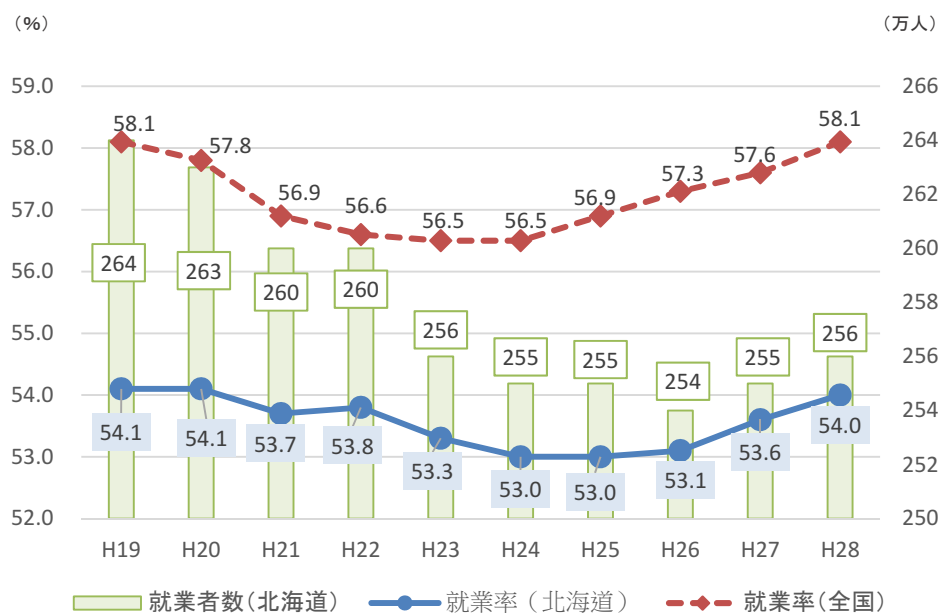


資料出所: 厚生労働省「平成27年度雇用政策研究会報告書」

3 北海道の就業率

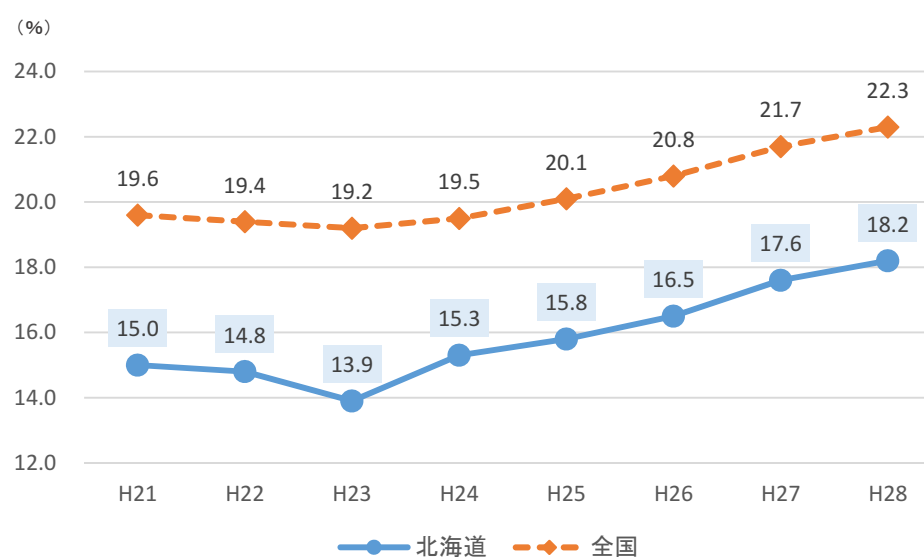
本道の就業率は全国と比べて約4ポイントほど低くなっている。

■ 就業者数・就業率



資料出所:総務省「労働力調査」

■ 高齢者(65歳以上)の就業率

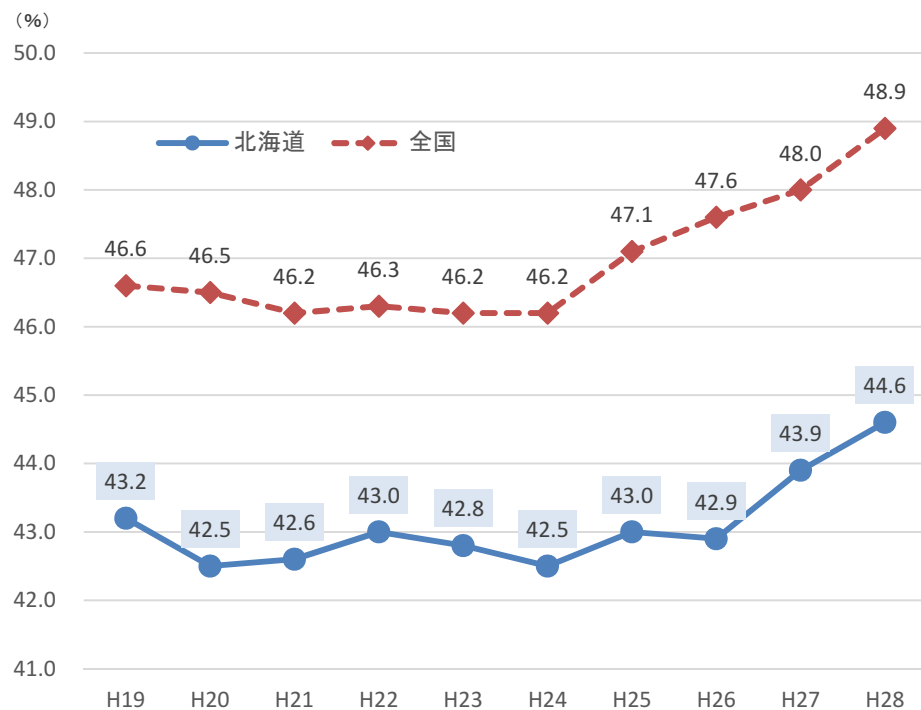


資料出所:総務省「労働力調査」

3 北海道の就業率

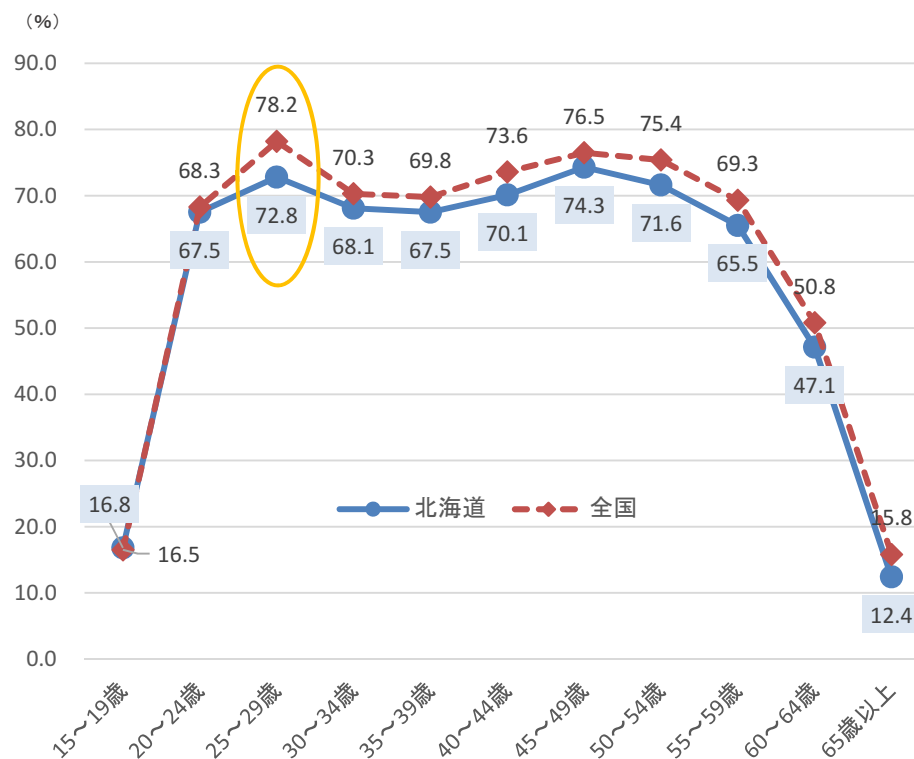
北海道の女性の就業率は全国と比べて低く、特に25～29歳の年齢層において全国との格差が大きい。

■ 就業率(女性)



資料出所:総務省「労働力調査」

■ 女性の年齢階層別、就業率(平成28年)

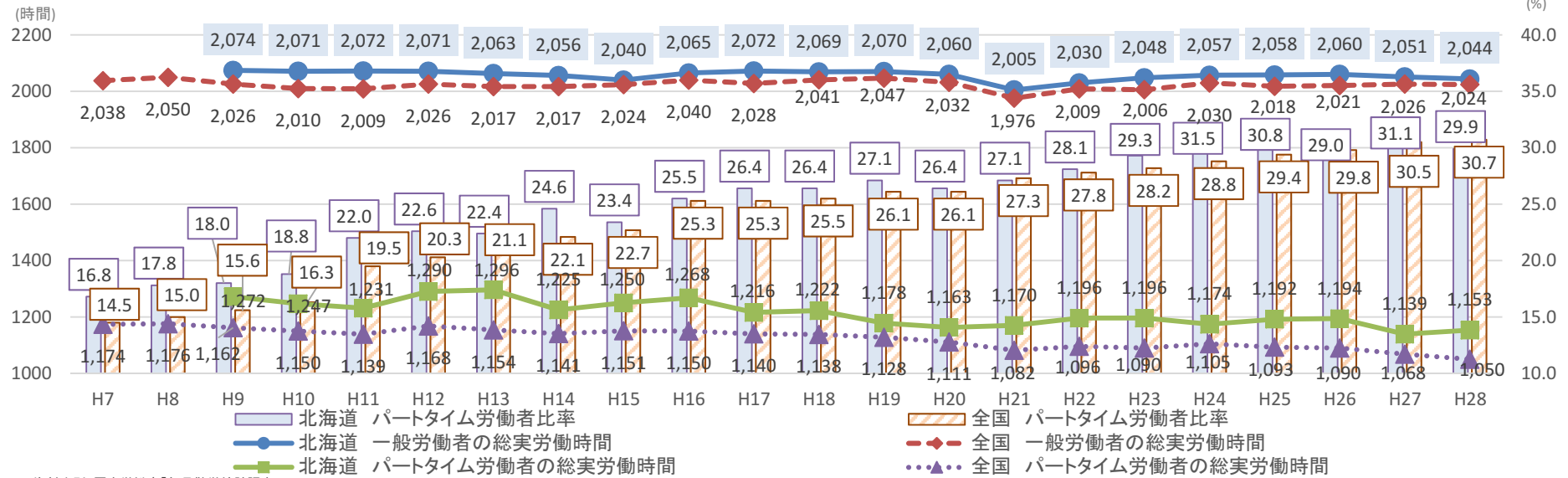


資料出所:総務省「労働力調査」

4 北海道の労働環境

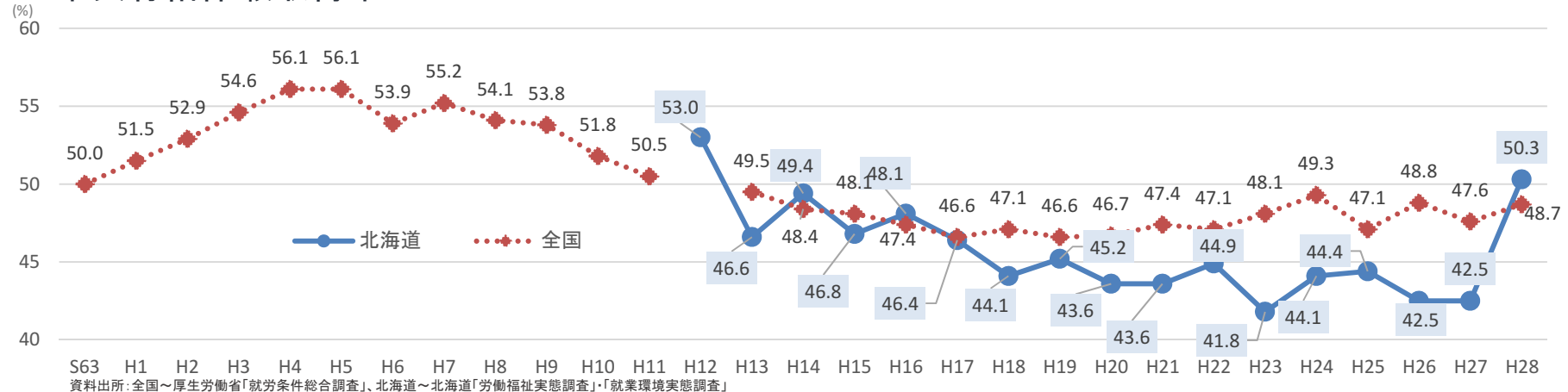
本道の労働環境は、全国に比べ、年間総労働時間が長く、年次有給休暇取得率が低いなど、厳しい状況に置かれている。(H28年の年次有給休暇取得率については、北海道の状況が改善)

■ 年間総実労働時間



資料出所: 厚生労働省「毎月勤労統計調査」

■ 年次有給休暇取得率

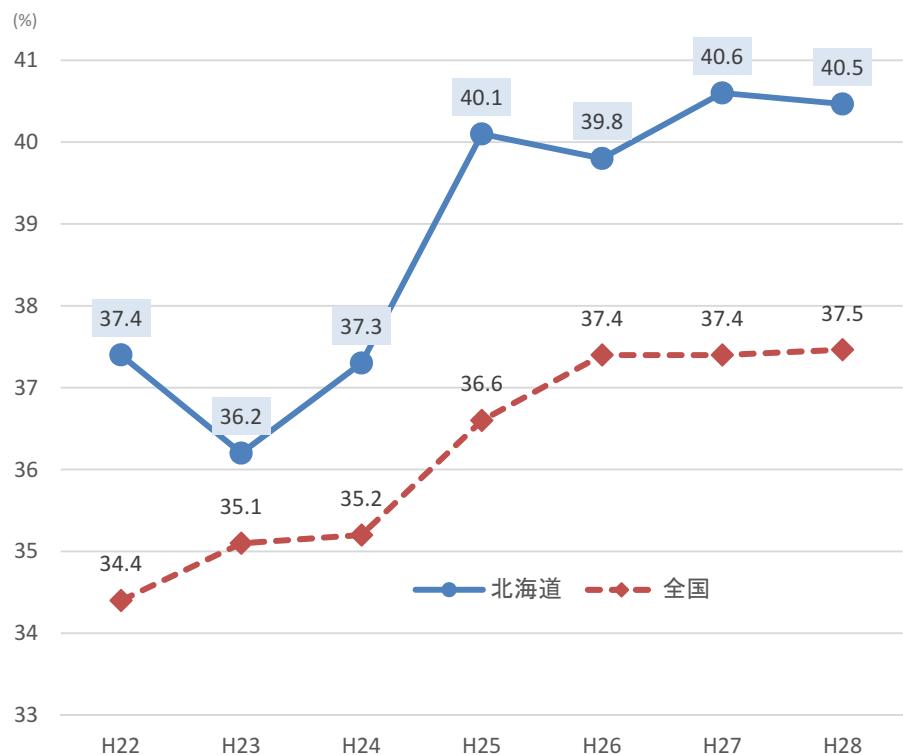


資料出所: 全国~厚生労働省「就労条件総合調査」、北海道~北海道「労働福祉実態調査」・「就業環境実態調査」

4 北海道の労働環境

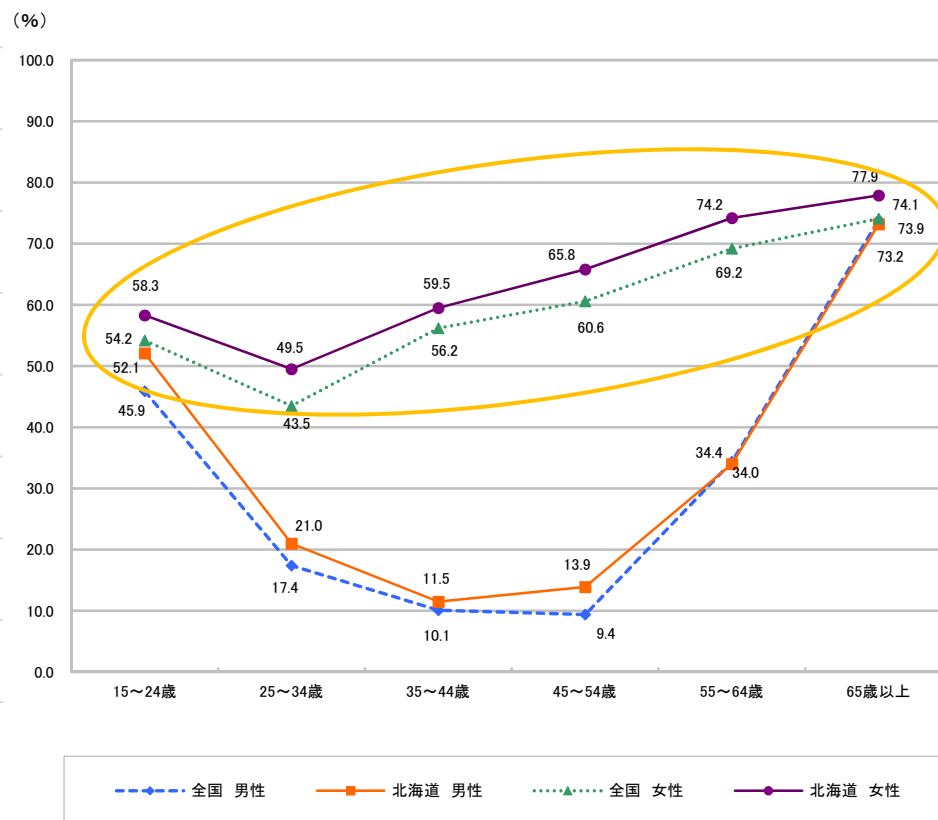
北海道の非正規労働者数の割合は、全国よりも高く、かつ、全国を上回る傾向で上昇している。特に女性は、全国と比較し、全年齢階層を通じて非正規労働者の割合が高い。

■ 非正規雇用割合



資料出所: 総務省「労働力調査」を基に道雇用労政課で算出

■ 男女別、年齢階層別、非正規雇用割合

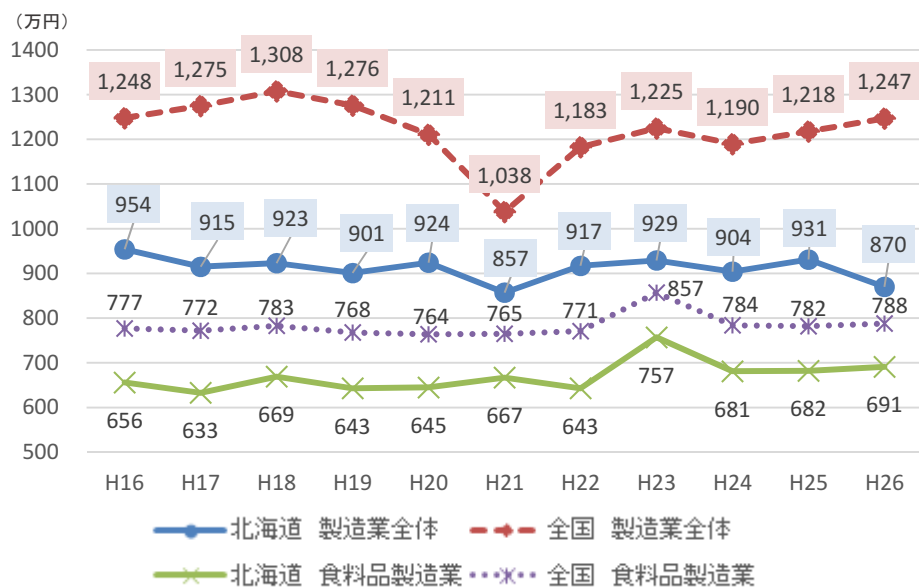


資料出所: 総務省「平成24年就業構造基本調査」を基に雇用労政課で算出

5 北海道の付加価値生産性

本道の業種別付加価値生産性は、全国よりも低く、付加価値額はほぼ横ばいで推移している。

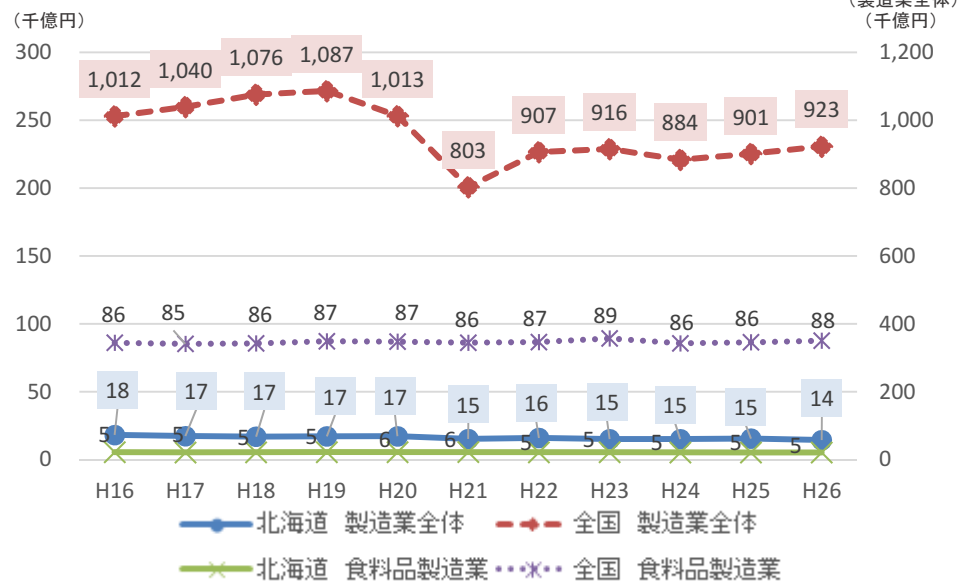
■業種別付加価値生産性



資料出所: 経済産業省「工業統計調査」、総務省「経済センサス」

■業種別付加価値額

北海道、全国(食料品製造業)



資料出所: 経済産業省「工業統計調査」、総務省「経済センサス」

6 ほっかいどう働き方改革支援センターについて

本道の「働き方改革」を推進する拠点として、昨年12月20日に、就業環境の改善に取り組む企業の相談にワンストップで対応する「ほっかいどう働き方改革支援センター」を開設した。



ほっかいどう 働き方改革支援センター

- **設置場所** 札幌市中央区北1条西7丁目 プレスト1・7 3F
北海道中小企業団体中央会内
- **利用時間** 午前9時～午後5時（土・日・祝を除く）
- **組織体制** 常勤：センター長、次長、事務員 計3名体制
非常勤：アドバイザー（社会保険労務士、中小企業診断士）
- **出張相談会** 函館、旭川、室蘭、帯広、北見、釧路（隔月1回程度）
- **主な機能** 【企業に対する総合相談窓口】
 - ・相談業務（電話相談、出張相談会（全道6か所）、等）
 - ・アドバイザー派遣【人手不足が深刻な業界団体*と連携した改革モデルプランの作成・普及】
 - ・実態調査
 - ・処遇改善策の提案
 - ・個別企業の改革プランの作成* 宿泊業、IT産業、運輸業

※地方創生推進交付金（補助率1/2）を活用し、平成30年度までの3か年事業

承認

H28.8.10

北海道働き方改革・
雇用環境改善推進会議
[地方版政労使会議]
(事務局：北海道労働局)

道、札幌市、道経連ほか経済3団体、
連合北海道、道経産局、道労働局、
北洋銀行、北海道銀行

・H27.12.24 共同宣言を採択
⇒共同宣言賛同団体(H29.3.17現在)
市町村 76
業界団体等 90

地域雇用ネットワーク会議

各振興局(道出先機関)に設置

<構成> 経済団体、労働団体、教育機関、行政 等

<役割> 雇用創出、就業支援、若者等の離職防止、
両立支援、働き方改革推進 等

普及

7 働き方センター事業(平成28年度実績及び平成29年度計画)

平成29年度は、働き方改革アドバイザーの増員、業種別改革モデルプランの作成のほか、ミニセミナーや労働セミナーの地方開催により、本道における「働き方改革」の普及・啓発を強化する。

	平成28年度実績	平成29年度計画
相談業務	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 電話、来所、メール相談 ◆ 出張相談会 (函館、旭川、室蘭、帯広、北見、釧路で開催) ◆ 働き方改革アドバイザー派遣 <p>⇒ 相談件数104件</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 電話、来所、メール相談 ◆ 出張相談会 +ミニセミナー <small>☆NEW☆</small> (函館、旭川、室蘭、帯広、北見、釧路で開催) ◆ 働き方改革アドバイザー派遣 (中小企業診断士を増員) <small>☆NEW☆</small>
改革プランの作成・普及	<p>人手不足が深刻な業界団体(宿泊業、IT業、運輸業の3業種)と連携し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 実態調査 ◆ 改善策の提案 	<p>人手不足が深刻な業界団体(宿泊業、IT業、運輸業の3業種)と連携し、</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ モデル企業による改善策の実践 <small>☆NEW☆</small> (3業種・各2社において、改善策を実践) ◆ 業種別改革プランの作成 <small>☆NEW☆</small> (事例を集積することにより、改革プランを作成)
本道における働き方改革の普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 開設記念セミナー【H29.2.6・札幌開催】 ◆ 普及啓発セミナー(宿泊業)【H29.2.24・札幌開催】 ◆ 推進セミナー(情報通信業・道路貨物運送業)【H29.3.15・札幌開催】 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 労働セミナー <small>☆NEW☆</small> (労使双方を対象とし、働き方改革の意識醸成を図るもの) 【場所】札幌、函館、旭川、帯広、釧路 【時期】6~1月で、各地域1回 ◆ 普及啓発セミナー (業種別改革プランを普及啓発するもの) 【場所】札幌 【時期】2月頃 ◆ 各企業で開催されるセミナーなどに「働き方改革アドバイザー」が出向き、「働き方改革」に関するセミナー講師を承ります <small>☆NEW☆</small>

8 働き方センター事業の計画

企業に対する総合相談窓口業務のほか、業界ごとの改革プランを作成し、企業へ改革プランの普及・啓発を図ることにより、本道の「働き方改革」の取組を推進する。

